

ネブライザー療法の慢性副鼻腔炎に及ぼす効果

三重大学 耳鼻咽喉科

間島 雄一, 他

慢性副鼻腔炎に対するネブライザー療法の効果を明らかにするため、次の如き検討を行った。63例の小児, 82例の成人慢性副鼻腔炎患者にアミノ配糖体系抗生物質とステロイド剤をジェットネブライザーで週2回, 約3ヶ月投与した。自覚症状, 他覚所見を総合した効果判定で, 有効率は小児で18%, 成人で40%であった。同じ効果判定基準で判定したS-カルボキシメチルシステインの経口投与およびセラチオペプチダーゼの経口投与の有効率はそれぞれ13%であったことから, ネブライザー療法は自覚症状, 他覚所見の改善にいわゆる酵素製剤に比し有効な手段であり, 成人においてより顕著なことが明らかとなった。

成人症例では治療後の上顎洞陰影黒化度が治療前に比し有意に改善したことから, 本療法は成人において上顎洞病変の改善に有効であることが明らかとなった。